



MINATO TOKYO

# Bulletin

みなと  
ユネスコ

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/MITSUKO TAKAI PRES.  
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL・FAX 03 (3434) 2233 発行人/高井光子

2015年6月1日発行 第140号

## 目次

P1 巻頭言「価値観の多様性と共生」	P9 ディプロマツツ・レクチャー
P2 - 8 シンポジウム 「成熟都市へのみち」 ～オリンピック・パラリンピックを超えて～	P9 2015年度 総会
	P10 事務局便り / 編集後記

## 価値観の多様化と共生

ユネスコ協会 理事 峰尾茂克



厚生労働省が平成 26 年 7 月に発表した平成 25 年簡易生命表によると、男性の平均寿命は 80.21 年、女性は 86.61 年。90 歳まで生存する割合は、男性は 23.1%、女性は 47.2%となっている。

また、内閣府の平成 26 年版高齢社会白書によると、我が国の総人口は平成 25 (2013) 年 10 月 1 日現在、1 億 2,730 万人。総人口に占める 65 歳以上人口の割合 (高齢化率) は過去最高の 25.1% (前年 24.1%) となっている。

上記資料からも明らかなおり日本は超高齢社会である。

一方において、総務省『国勢調査』によると、年齢別未婚率 (2010 年) は、男性は 25 歳～29 歳で 71.8%、30 歳～34 歳で 47.3%、35 歳～39 歳で 35.6%。

女性は 25 歳～29 歳で 60.3%、30 歳～34 歳で 34.5%、35 歳～39 歳で 23.1%となっている。

このように、25 歳から 39 歳の未婚率は、男女ともに上昇傾向になっている。

今後の少子化の懸念や世代間扶養の考え方に成り立つ年金制度への懸念、生産年齢人口減少への懸念等は、今後の日本の課題として、よく知ら

れたことである。

見方を変え、価値観の多様化という点に言及すれば、今後日本は超高齢社会ならではの世代間における価値観の相違やライフスタイルの変化による価値観の多様化に益々直面する時代になることが予想される。

価値観が多様化し、他の価値観を認めることは、国際交流にも通ずるところがある。他の価値観を認めるということは決して他に迎合することではなく、自己の存在を確立した上で、他を認めることではないかと私は思う。つまり共生である。

日本には今まで引き継がれてきた古き良き伝統や文化がある。私は最近日本の良き伝統や文化が価値観の多様化や時代の変革とともに失われつつあるような気がしてならない。人と人との交流についても然りである。

2020 年にオリンピック・パラリンピックが開催される。現在、円安の効果もあり日本への海外からの旅行者が増えているという。

思えば、速いもので、私がユース活動委員会で活動していた時から 25 年ほどが経過した。

日本の良き伝統や文化を真の意味で海外の方に伝えていくことができるかどうかを改めて自問自答してみたいと思う。